時事新報

東京　明治十七年十月十八日　土曜日　第七百九十一號　日曜日休刊　定價金三錢

時事新報

社告

時事新報購讀者諸君へ申上候

時事新報購讀御注文被成下候節は（東京横濱両市中御住居は御方を除き）同時に代金御送致被成下候樣奉願候右金員當方へ到着仕候節其旨郵書を以て別に御通知は不申上其代りに毎日御郵送申上候時事新報の帶封表面御名前の脇に〔何月何日〕と記入仕置候間此日附は即ち御拂込みの前金相切れ可申期日なしく此期日までの時事新報代價丼に郵便税とも御拂濟相成候事と御承知被成下度候

時事新報購讀約購讀諸君にて住所御移轉等のため新報配達先き御取替へ被成度節は新舊両方の所書を併せて御通知被成下度候

郵便爲換又は銀行爲換等を以て時事新報代價御拂入れ被成下候節當方の宛名は〔時事新報社〕と致し郵便爲換なれば〔東京蠣殼本局〕にて受取るべき樣御取組被成下度候

御住所の御都合等よく郵便爲換又は銀行爲換等御取組被成候儀御不便の御方に限り時事新報代價丼に郵便税とも一錢又は二錢れ郵便切手にて御拂入れ被成下候て苦しからず候

東隣ノ大統領

北米合衆國ハ共和政治ノ政府ニシテ其柄ヲ握ル者ハ大統領ナリ大統領ハ全國人民ノ公撰ニ由テ推薦セラレ在職四年ヲ限ル四年ノ任期滿レバ更ニ公撰ノ法ヲ以テ後任ノ人ヲ定メ由テ以テ萬機ノ政ヲ一新ス故ニ米國ノ大統領交代ハ全國ノ大事件ニシテ人民個々利害ノ關スル所決シテ少小ナラズ各畢生ノ力ヲ盡シテ勝敗ヲ爭フガ故ニ其混雜騷動ハ世界中ニ復タトアルベカラザル非常ノモノナリ

來年三月ハ米國大統領新舊交代ノ期ニシテ其新大統領タルハ本年十一月四日ニ全國人民ノ投票ヲ以テ多數決定スルモノナルガ故ニ目下全合衆國ヲ通シテ人々皆政黨ノ爭ニ忙ハシク其有樣ヲ形容スレバ祭禮ノ如ク開帳ノ如ク戰爭ノ如ク闘業師道式ノ如ク其騷動實ニ名狀スベカラザルモノアルナリ當時米國ノ政黨中最モ有力ナルモノヲ「レパブリカン」「デモクラット」ノ二黨トシ政黨競爭ノ紛擾モ殆ント此二黨ノ專ラニスル所タリ回顧スレバ千八百六十一年「リンコルン」氏大統領ノ職ニ就キシ以來年ヲ閲スル二十四大統領其人ヲ代フルヿ前後五人ニ及ブト雖ドモ米國ノ政權ハ依然「レパブリカン」ノ一黨ニ歸シテ他ニ移ラズコレニ敵對スル「デモクラット」黨ノ如キハ其黨勢强カラザルニアラズ有爲ノ人物多カラザルニアラズト雖ドモ毎四年ノ戰爭ニ形ノ如ク敗北ヲ取リ連敗遂ニ今日ニ至ルモ勇氣勃々トシテ奮時ニ異ナラズ今年十一月ノ大統領撰擧ニ「レパブリカン」黨ノ候補ハ前國務卿「ブレイン」氏「デモクラット」黨ノ候補ハ現任紐育州知事「クリヴランド」氏ニシテ兩黨ノ勢互角ヲ爲スノミナラズ時宜ニ由リテハ久方振リニテ「デモクラット」黨ノ勝利ニ歸スベキヤトノ評判サヘアリテ目下全國ノ人民ガ各其最貢スル所ニ片袒ヲ脫キテ奔走周旋スル有樣ハ我々日本國民ナドノ眼ニ見レバ狂氣ノ沙汰ニ外ハ思ハレズ人或ハ此有樣ヲ見テ米國人民ノ政治ノ思想ニ富メルニ感服シ公益ノ爲メニ私利ヲ顧ミズ米國人ノ義氣ハ日月ト其光ヲ爭フベシトテ只管コレヲ賞嘆シテ止マザル者アリト雖ドモ米國人ハ必ズシモ熱心義氣ノ事ニノミ專定熱心スルノ人ニアラズ其一政黨ノ政略ヲ以テ航海會社鎖道會社製造會社等ニ向ツテ多額ノ保護金ヲ與ヘ或ハ海陸軍等ノ用達ヲ特ニ某々ノ會社ニ命シテ意外ノ利潤ヲ得セシメ或ハ支那人ノ來住ヲ禁シテ內國勞役社會ノ賃錢ヲ引上ケ或ハ織物ノ輸入關税ヲ高クシ內國ノ織屋ヲシテ外國廉價品ノ競爭ヲ免カレシムル等千種萬端ノ情實アルガ爲メニ苟クモ米國人民トシテ此世ニ生存シアル限リハ人間自愛ノ道理上ニ於テ是非トモ自家ノ便利トスル人物ヲ擧ケテ大統領ノ職ニ就カシメザルベカラズ是レ則チ米國人民ガ政治上ニ世界無類ノ熱心ヲ現ハス第一ノ原由ナリ或ハ多數ノ人民中政府ノ交迭ノ爲メニ直接ニ自家ノ利害ヲ感セザル者ニ至ルマデ他ノ豪商大家等ト均シク飽クマデモ政治ニ熱心シテ狂奔スルガ如キハ蓋シ或ハ我日本人ガ祭禮ニ熱心シ相撲ノ勝負ニ己レヲ忘レテ喜怒笑罵スルノ類ト相似タル所アラン日本人米國人地ヲ易ヘバ皆然ランノミ

來ル十一月四日ノ撰擧會ニハ「レパブリカン」黨勝利ヲ得テ「ブレイン」氏大統領ノ職ニ就カンカ或ハ「デモクラット」黨勝利ヲ得テ「クリヴランド」氏大統領ノ職ニ就カンカ我輩ニハ今日ニ前知スルヿ能ハザルナリ若シ「デモクラット」黨ニシテ今回久方振リニ中原ノ鹿ヲ獲ンカ米國ノ中央政府ハ上大統領ヨリ下門監ノ小吏ニ至ルマデ悉皆交迭スルト同時ニ保護貿易ハ自由貿易ト爲リ內外ノ政策一變シテ從來ノ秩序ニ一大變革ヲ惹起スノミナラズ時宜ニ由リテハ憲法ヲモ改正增減スルノ沙汰アルベシ斯ノ如キハ則チ獨リ米國ノ一大事件ノミナラズ苟クモ此國ト交誼アルノ國々ハ多少ニ皆其影響ヲ蒙ルベキ一事變ナルベシ或ハ又二十餘年來ノ實例ニ從ヒ今回モ亦現任政黨ノ勝利ニ歸シ「レパブリカン」黨ヲシテ今一度政壇ニ凱歌ヲ奏セシムルヿアランカ斯ノ如キモ亦米國幷ニコレト交誼アル國々ノ爲メニ大事件タルノ性質ヲ失ハザルベシ何トナレバ今回「レパブリカン」黨ノ候補者タル「ブレイン」氏ハ前年國務卿在職六箇月間計リノ時ニ當リ南北同亞米利加大陸ハ宜シク米國人ノ管理ニ在ルベシ汝歐洲ノ列國人如何デ汝ヲシテ我臥榻ノ傍ニ鼾睡セシムベキヤトノ說ヲ持スル人ナリ愛國人ヲ庇保シテ英國人ヲ窘メントスル人ナリ支那人ノ移住ヲ拒絕スルノ人ナリ此人ニシテ若シ果シテ大統領ノ職ニ就キテ其意見ヲ政治ノ實際ニ施スヿアラン歟歐洲列國幷ニ南米諸國ト米國トノ關係ヲ一變スベキハ勿論米國ガ東洋諸國就中日本支那朝鮮ニ對スルノ政略モ必ズ亦一變シテ從前ノ如ク緩漫溫和ナラズ漸ク進取干涉ノ實ヲ示ネヿアラン北太平洋ノ米國軍艦ノ數大ニ增加シ太平洋ヲ橫斷シテ亞細亞亞米利加両大陸ノ間ニ海底電線ヲ沈メ太平洋郵船ノ航路ヲ增シ又艦數ヲ加フル等ハ總テ皆ナ「ブレイン」氏在職中ノ事業ニ屬スベキカト疑惑セラルヽナリ兎ニ角ニ今回北米合衆國大統領ノ交代ハ全國政略ノ變更ニ關スル緊要事件ナリ或ハ一政黨ノ政略ヲ以テ航海會社鎖道會社製造會社等ニ向ツテ多額ノ保護金ヲ與ヘ或ハ海陸軍等ノ用達ヲ特ニ某々ノ會社ニ命シテ意外ノ利潤ヲ得セシメ或ハ支那人ノ來住ヲ禁シテ內國勞役社會ノ賃錢ヲ引上ケ或ハ織物ノ輸入關税ヲ高クシ內國ノ織屋ヲシテ外國廉價品ノ競爭ヲ免カレシムル等千種萬端ノ情實アルガ爲メニ苟クモ米國人民トシテ此世ニ生存シアル限リハ人間自愛ノ道理上ニ於テ是非トモ自家ノ便利トスル人物ヲ擧ケテ大統領ノ職ニ就カシメザルベカラズ是レ則チ米國人民ガ政治上ニ世界無類ノ熱心ヲ現ハス第一ノ原由ナリ或ハ多數ノ人民中政府ノ交迭ノ爲メニ直接ニ自家ノ利害ヲ感セザル者ニ至ルマデ他ノ豪商大家等ト均シク飽クマデモ政治ニ熱心シテ狂奔スルガ如キハ蓋シ或ハ我日本人ガ祭禮ニ熱心シ相撲ノ勝負ニ己レヲ忘レテ喜怒笑罵スルノ類ト相似タル所アラン日本人米國人地ヲ易ヘバ皆然ランノミ

統領ノ交代ハ獨リ合衆國內ノ出來事ニアラズ近クハ我日本ニモ大關係アル事件ナリト云ハザルヲ得ズ世ノ經國ノ責ニ任スルノ諸士或ハ匆々對岸ノ火災視シテ他日ノ悔ヲ招クヿ勿レ

電報

○十月十五日倫敦發　ノルスブルーク侯ハ埃及陸軍ヲ全廢シ代ゆるに警備軍を以てせんとの建議をおしたるに埃及政府之不同意を表したり

シエンデー及びカルツームの間に在る諸酋長ゞ皆降を乞へり（ゴルドン將軍既ふカーツームの圍を解きベルバーを恢復し猶益々叛民の攻擊を務め叛民等今は之に抵抗そる能はずして各降を乞ひたるとならん）

○十月四日倫敦發　埃及內地ドンゴラふ在る第三十五隊の兵士中疾病ふ係るもの甚ゞ多しとの報あり○ウチルセレイ侯はエスヲーに到着しより

○十月六日倫敦發　タイムス新聞ハウチルセレイ侯は呼び返され將軍スチーヴンソン氏が遠征隊と指揮すべしとの電報を掲載す

佛清事件

○佛軍大勝利　前號の紙上に東京郎松（トンリンサン）の近傍ふて支那軍大擧して佛軍ハ陣營を襲ひ支那軍の死傷三千八百ありしるよし記し置きしるが一昨夜に至り左の電報上海より東京の或方へ達しより是は前日の電報と同一の事柄を報せるものにして特ふ詳密確實あるもれなるか又い其後ハ戰報なるか未ゞ詳ならず

十月十六日午後三時五十分上海發

佛京巴里ヨリ左ノ電報到達セリ曰ク佛軍ハ去ル十日十一日両日ノ戰ヲ以テ東京「ラクナム」ノ山上ニ在ル支那軍ノ陣營並ニ諸堡築ヲ攻取リタリ支那軍ノ死傷ハ大將以下三千人佛軍ハ戰死十九名負傷九十名ナリ

此電報中ラクナムと云ふは河の名とも云ひ又地名とも云ひ未ゞ詳かならず郎松の近傍なるよし

○東京戰報　又前項と同一の事を報せる電信上海より一昨十六日東京佛國公使館へ達しより即ち左の如し

上海發電報

「ロクナン」ニ於テハ佛軍大ニ支那軍ヲ破レリ

「ドンメル」大佐ハ城塹及兵營ヲ占取セリ

是役ニ清兵死傷三千餘且ツ清兵ノ指揮官ヲモ打取リタリ

○香港電報　郎松近傍にて佛軍が大に清兵を擊破りたる由は前號の紙上ふも載せ又前二項にも掲くる通りあるが昨日到着したる本月八日發兌の申報には左の電報を載せたり

十月七日午前十二時香港發電報

東京ヨリノ電報ニ支那兵福關（フクワン）東地方ニテ佛軍ヲ攻擊セシニ佛軍ハ力ヲ極メテ之ヲ禦キ佛兵死傷十九名支那兵死傷八百人ナリ

○東京の佛國より一月程頃佛國より すべければ あふん又關 兵四隊を發 溪を攻め其 手筈なりと ○償金を山 國政府は在 仲裁せんと ゐためその を持出した の償金と出 替ふず手强 然るふ佛軍 恨を增そと て償金を 是非とも十 の慾張り論 着そる見込

○休戰れ掛 李氏より て掛合方

○李鴻章米 ク氏い九日 到着し整廿 は更めて李 す近頃佛國 請求りされ 々と述へふ れ貴政府と 云ひければ 其日い在天 氏は電報を 館を訪ひ て双方の 電報の飜譯 か相應ある には佛政府 同政府より 訓令しふる を反覆そる 色其顏に 然として ゞ述べふ